

教員職員講課

とくしま教員育成指標について

報告事項2

標指成育具教ましくと

担任力……………見児童一人ひとりを大切にし、個性や可能性を伸長・発達させるために、学級の運営はもとより、学年、委員会活動、クラブ活動等、児童が活動する集団の責任として、全ての教員に求められる資質・能力。

中学校教諭用

資質能力	〈第1ステージ〉		〈第2ステージ〉		〈第3ステージ〉	
	基盤形成期	伸長充実期	深化・発展期	〈第2ステージ〉	深化・発展期	熟達期
キヤリーステージ 採用時に本職が求める姿	養成期	養成期	養成期	養成期	養成期	養成期
使命感・情熱・まつた た 倫 理	○教育的愛情と熱意をもっている。 ○社会人としての常識ややさしさ、道徳性を身につけ、法令遵守の精神に基づいた行動をしている。	○「とこしま」を愛し、信頼教育大綱に示されている「人財」の育成を目指す。使命感と教職への情熱をもって、たくましく、粘り強く教育活動に取り組んでいる。	○使命感と教職への情熱をもつて、教育活動を推進している。	○学校や地域の運営に広く、家庭や地域の信頼を得ている。	○学校や地域の人権を尊重する態度を向けて、関係機関等とともに、人権の精神が高まるよう家庭や地域等とともに取り組んでいる。	○家庭や地域の運営に広く、家庭や地域の信頼を得ている。
人権尊重の精神 見・学び続ける力 社会性・コミュニケーション力	○自己を大切にし、人権感覚を身に付け、互いに尊重・尊重し合う心で行動している。 ○学生に対する意欲をもち、他者の意見を躊躇に受け止めない。 ○コミュニケーション力を身につけ、他者と一緒にいる。 ○コミュニケーション力を身につけ、相手の立場や感情に配慮しながら、助け合っている。	○生徒一人ひとりの抱えている悩みや願いを把握し、差別やいじめを察さない集団をつくるとともに、教育的愛情をもち、人権を尊重し、行動している。	○生徒一人ひとりの抱えている悩みや願いを有し、課題意識と探求心をもつて自己研鑽に努めるとともに、範囲を示している。	○学校や地域の運営に重きを置かずされた職員をもつて、範囲を示している。	○学校や地域の運営に重きを置かずされた職員をもつて、範囲を示している。	○学校や地域の運営に重きを置かずされた職員をもつて、範囲を示している。
児童生徒指導 集団づくり力 課題解決力 特別な配慮を要する児童支援 未来ビジョン育成力 カリキュラム力	○生徒の意識を理解し、生徒指導や教育相談等の基本的な方法を身に付けている。 ○担任の職務内容や集団づくりの意義を理解し、学校運営等の基本的な指導方法を身に付けている。 ○学校生活の中で生じる様々な課題の発見と対応の方法について理解し、積極的に課題解決に取り組もうとしている。 ○特に生徒指導の重要性を理解し、基本的な指導支援の方法を身に付けていている。 ○カリキュラムの「目標」「内容」や系統等を理解している。	○生徒に向き合い、一人ひとりの人格を尊重し、社会的理屈によらず、自分の意見や行動力を擁護するよう意見を述べるなどして、社会的指導や社会的支援をし得る。○活動等の集団の経営方針を基に、一事一義で、それぞれ一貫性のある指導、支援を行っている。	○生徒の発達や個性をより多面的に理解し、長期的な視野を持つ社会的責任や行動力を養む。○指導、支援を行うことを意識している。	○異年齢集団等様々な集団活動に対しても、集団の運営に適応するなどして、集団の運営に適応する。○課題の未然防止や迅速な発見に努め、必要に応じて専門性を高め、生徒の特性に応じた指導、支援の在り方を検討している。	○生徒を深く理解し、細やかな配慮をもつて、全ての教職員の方へ生徒の成長過程を把握し、組織的できめ細やかな指導・支援が行われる環境づくりをしている。	○学校全体会の集団づくりの取組をもつて、生徒を深く理解し、細やかな配慮をもつて、全ての教職員の方へ生徒の成長過程を把握し、組織的できめ細やかな指導・支援が行われる環境づくりをしている。
授業力 授業観察力・改善力 実践力 組織マネジメント力 人材危機管理力	○授業を分析して改善する手立てを理解し、実践しようとしている。 ○組織の一員として、目標と自らの役割を理解し、がんばり切ることを実践している。 ○安全教育や防災教育等をはじめ危機管理の重要性を理解し、危機を早期見出しや予測して、行動を実行していく。 ○家庭や地域との連携する重要な性を理解し、ボランティア活動や地域の運営に貢献していく。	○自分の授業を振り返り改善する手立てを理解し、実践しようとしている。 ○学校の経営方針を理解し、報酬や昇給等に相応しい評議会を実現するように努力している。 ○生徒の学習状況を目標に照らし、評議会、指導・支援をしていく。 ○生徒の成長や思考の流れを分析し、生徒の学習の手引きを実践している。	○自分の授業を評議会で評議し、改善を実践するとともに、若手教員に助言をしている。	○各学年間の継続や効率化を図るために、小・中・高等の接続を意識して、学年間の特色を生かした創意工夫を作り出している。	○地域の事業や学校の教育活動に応じて、グローバルな視野とキャリア教育の企画立案から実践まで、家庭や地域企業等との連携を通じて、家庭や地域社会等の結果に貢献している。	○これまでの実践や経験を基に、専門性等を發揮しながら、指導教員に改善の指摘を示したりしていっている。
授業観察力・改善力 実践力 組織マネジメント力 人材危機管理力 協働力	○授業を分析して改善する手立てを理解し、実践しようとしている。 ○組織の一員として、目標と自らの役割を理解し、がんばり切ることを実践している。 ○安全教育や防災教育等をはじめ危機管理の重要性を理解し、危機を早期見出しや予測して、行動を実行していく。 ○家庭や地域との連携する重要な性を理解し、ボランティア活動や地域の運営に貢献していく。	○自分の授業を評議会で評議し、改善を実践するとともに、若手教員に助言をしている。	○生徒の学習状況を把握し、指導・支援をしていく。	○各学年間の継続や効率化を図るために、小・中・高等の接続を意識して、学年間の特色を生かした創意工夫を作り出している。	○地域の事業や学校の教育活動に応じて、グローバルな視野とキャリア教育の企画立案から実践まで、家庭や地域企業等との連携を通じて、家庭や地域社会等の結果に貢献している。	○これまでの実践や経験を基に、専門性等を發揮しながら、指導教員に改善の指摘を示したりしていっている。

生徒一人ひとりを大切にし、個性や可能性を伸長・発揮させるために、学級の運営はもとより、学年、委員会活動、部活動等、生徒が活動する集団の担任として、全ての教員に求められる資質・能力。

高等学校教諭用

とくしま教育成指標

要素・能力	キヤリストージ	採用時に本課が求める姿		<第1ステージ> 基盤形成期		<第2ステージ> 伸長・充実期		<第3ステージ> 深化・発展期		熱達期
		養成期	蓄成期	蓄成期	伸長・充実期	蓄成期	伸長・充実期	蓄成期	伸長・充実期	
使命感・情熱・さしたま	○「とくしま」を愛し、徳島教育大綱に示されている「財の育成」をめざして、危機感と情熱をもつて教育活動を推進している。	○「とくしま」を愛し、徳島教育大綱に示されている「財の育成」をめざして、危機感と情熱をもつて教育活動を推進している。	○教育公務員としての自覚をもつて法令等を遵守し、家庭や地域の信頼を得ている。	○生徒一人ひとりの抱えている悩みや願いを把握し、差別や人権を尊重し、行動を統一する。	○生徒一人ひとりの抱えている悩みや願いを把握し、差別や人権を尊重し、行動を統一する。	○家庭や地域の人の権利に関する課題の解決に向け、法令等の遵守を周囲の教職員に働きかけ、組織の志を高めている。	○家庭や地域の人権に関する課題の解決に向け、法令等の遵守を周囲の教職員に働きかけ、組織の志を高めている。	○家庭や地域の人の権利に関する課題の解決に応え、法令等の遵守を周囲の教職員に働きかけ、組織の志を高めている。	○家庭や地域の人の権利に関する課題の解決に応え、法令等の遵守を周囲の教職員に働きかけ、組織の志を高めている。	○家庭や地域の人の権利に関する課題の解決に応え、法令等の遵守を周囲の教職員に働きかけ、組織の志を高めている。
倫理観	○社会人としての倫理感やカーディナル精神を身につけ、互いに尊重し合う人間関係を築いていく。	○社会人としての倫理感やカーディナル精神を身につけ、互いに尊重し合う人間関係を築いていく。	○学生一人ひとりに取り組み、人権尊重の精神が高まるよう家庭や地域に広めている。	○意見を広げ、物事を的確に判断するとともに、主張的に研修に取り組んでいる。	○意見を広げ、物事を的確に判断するとともに、主張的に研修に取り組んでいる。	○意見を広げ、物事を的確に伝えるとともに、組織のコミュニケーションを活性化するとともに、管理體や学生会に融入する意欲をもつて、教職員とのハイグレードな連携を示している。	○意見を広げ、物事を的確に伝えるとともに、組織のコミュニケーションを活性化するとともに、管理體や学生会に融入する意欲をもつて、教職員とのハイグレードな連携を示している。	○意見を広げ、物事を的確に伝えるとともに、組織のコミュニケーションを活性化するとともに、管理體や学生会に融入する意欲をもつて、教職員とのハイグレードな連携を示している。	○意見を広げ、物事を的確に伝えるとともに、組織のコミュニケーションを活性化するとともに、管理體や学生会に融入する意欲をもつて、教職員とのハイグレードな連携を示している。	○意見を広げ、物事を的確に伝えるとともに、組織のコミュニケーションを活性化するとともに、管理體や学生会に融入する意欲をもつて、教職員とのハイグレードな連携を示している。
人権尊重の意識・観察・学び続ける力	○学び続ける意欲をもち、他者に受け止めている。	○学び続ける意欲をもち、他者に受け止めている。	○教職員と家庭や地域と一緒に取り組んでいる。	○教職員と家庭や地域と一緒に取り組んでいる。	○教職員と家庭や地域と一緒に取り組んでいる。	○生徒の発達や個々等をよりよい集団に育むために、指導や助言等を実践している。	○生徒の発達や個々等をよりよい集団に育むために、指導や助言等を実践している。	○生徒の発達や個々等をよりよい集団に育むために、指導や助言等を実践している。	○生徒の発達や個々等をよりよい集団に育むために、指導や助言等を実践している。	○生徒の発達や個々等をよりよい集団に育むために、指導や助言等を実践している。
社会性・コミュニケーション力	○コミュニケーションスキルを身につけ、他者と助け合っている。	○コミュニケーションスキルを身につけ、他者と助け合っている。	○生徒に向き合い、一人ひとりの人格を尊重し、社会的資質や行動規範等の基本的な方針を実践している。	○生徒に向き合い、一人ひとりの人格を尊重し、社会的資質や行動規範等の基本的な方針を実践している。	○生徒に向き合い、一人ひとりの人格を尊重し、社会的資質や行動規範等の基本的な方針を実践している。	○様々な集団活動に対して、よりよい集団に高めるとともに、集団相互の関わりを活性化させている。	○様々な集団活動に対して、よりよい集団に高めるとともに、集団相互の関わりを活性化させている。	○様々な集団活動に対して、よりよい集団に高めるとともに、集団相互の関わりを活性化させている。	○様々な集団活動に対して、よりよい集団に高めるとともに、集団相互の関わりを活性化させている。	○様々な集団活動に対して、よりよい集団に高めるとともに、集団相互の関わりを活性化させている。
児童生徒指導力	○担任の職務内容や集団づくりの意欲を理解し、基本的な指導方法を身につけている。	○担任の職務内容や集団づくりの意欲を理解し、基本的な指導方法を身につけている。	○生徒を尊重し、社会的資質や行動規範等の基本的な方針に対する方針を実践している。	○生徒を尊重し、社会的資質や行動規範等の基本的な方針に対する方針を実践している。	○生徒を尊重し、社会的資質や行動規範等の基本的な方針に対する方針を実践している。	○課題の未然防止や迅速な発見から課題解決を図り、その様々な方針について若干教員に助言を述べる。	○学校が直面する様々な課題を把握し、細やかな配慮を深く理解し、細やかな配慮をすることによって、生徒の理解や指導等に対する理解を図るために、全ての教職員が生徒の理解や指導等に対する理解を図るために、細やかな配慮を実践的ででき、組織的な指導・支援を行っている。	○学校が直面する様々な課題を把握し、細やかな配慮を深く理解し、細やかな配慮をすることによって、生徒の理解や指導等に対する理解を図るために、細やかな配慮を実践的ででき、組織的な指導・支援を行っている。	○学校が直面する様々な課題を把握し、細やかな配慮を深く理解し、細やかな配慮をすることによって、生徒の理解や指導等に対する理解を図るために、細やかな配慮を実践的ででき、組織的な指導・支援を行っている。	○学校が直面する様々な課題を把握し、細やかな配慮を深く理解し、細やかな配慮をすることによって、生徒の理解や指導等に対する理解を図るために、細やかな配慮を実践的ででき、組織的な指導・支援を行っている。
集団づくり力	○担任の職務内容や集団づくりの意欲を理解し、基本的な指導方法を身につけている。	○担任の職務内容や集団づくりの意欲を理解し、基本的な指導方法を身につけている。	○生徒を尊重し、社会的資質や行動規範等の基本的な方針に対する方針を実践している。	○生徒を尊重し、社会的資質や行動規範等の基本的な方針に対する方針を実践している。	○生徒を尊重し、社会的資質や行動規範等の基本的な方針に対する方針を実践している。	○インクルーシブ教育システム構築に向けた体制づくりを推進している。	○キャラクタ教育の視点に基づき、助言するなども、地元で実現するため、地元の教育活動に貢献している。	○インクルーシブ教育システム構築に向けた体制づくりを推進している。	○キャラクタ教育の視点に基づき、助言するなども、地元で実現するため、地元の教育活動に貢献している。	○キャラクタ教育の視点に基づき、助言するなども、地元で実現するため、地元の教育活動に貢献している。
課題解決力	○特別な配慮を要する特別支援教育への理解・支援力	○特別な配慮を要する特別支援教育への理解・支援力	○学校生活の中で生じる様々な課題解決に取り組もうとしている。	○学校生活の中で生じる様々な課題解決に取り組もうとしている。	○学校生活の中で生じる様々な課題解決に取り組もうとしている。	○教育的三ースに対するため、専門性を高め、生徒の成長を促す指導・支援をして、特性に応じた指導・支援を行っている。	○社会で果たすべき役割の実現に向けて、家庭・社会・職場等の運営に専門性を高め、生徒の成長を促す指導・支援をして、特性に応じた指導・支援を行っている。	○教育的三ースに対するため、専門性を高め、生徒の成長を促す指導・支援をして、特性に応じた指導・支援を行っている。	○社会で果たすべき役割の実現に向けて、家庭・社会・職場等の運営に専門性を高め、生徒の成長を促す指導・支援をして、特性に応じた指導・支援を行っている。	○社会で果たすべき役割の実現に向けて、家庭・社会・職場等の運営に専門性を高め、生徒の成長を促す指導・支援をして、特性に応じた指導・支援を行っている。
未来ビジョン育成力	○キャラクタ教育の重複性を理解し、基本的な指導方法を身につけている。	○キャラクタ教育の重複性を理解し、基本的な指導方法を身につけている。	○生徒の実態に応じ、作成の意図を踏まえて、目標を設定するため、目標を明確にして、目標を達成するため、目標を明確にして、目標を達成する。	○生徒の実態に応じ、作成の意図を踏まえて、目標を明確にして、目標を達成するため、目標を明確にして、目標を達成する。	○生徒の実態に応じ、作成の意図を踏まえて、目標を明確にして、目標を達成するため、目標を明確にして、目標を達成する。	○各年次に基づき、学年や科等で、目標を明確にして、目標を達成する。	○各年次に基づき、学年や科等で、目標を明確にして、目標を達成する。	○各年次に基づき、学年や科等で、目標を明確にして、目標を達成する。	○各年次に基づき、学年や科等で、目標を明確にして、目標を達成する。	○各年次に基づき、学年や科等で、目標を明確にして、目標を達成する。
カリキュラム力	○学習指導要領を理解して、「目標」「内容」や系統等を理解している。	○学習指導要領を理解して、「目標」「内容」や系統等を理解している。	○生徒の活動の姿や思考の流れを把握し、教科・科目等の学習指導要領を理解している。	○生徒の活動の姿や思考の流れを把握し、教科・科目等の学習指導要領を理解している。	○生徒の活動の姿や思考の流れを把握し、教科・科目等の学習指導要領を理解している。	○学力調査・学技評価等の結果を踏まえて、日々の授業改善に結び付けている。	○生徒の実態に応じ、教科・科目等の教科評議会を開催して、各年次に基づき、学年や科等で、目標を明確にして、目標を達成する。	○学力調査・学技評価等の結果を踏まえて、日々の授業改善に結び付けている。	○生徒の実態に応じ、教科・科目等の教科評議会を開催して、各年次に基づき、学年や科等で、目標を明確にして、目標を達成する。	○生徒の実態に応じ、教科・科目等の教科評議会を開催して、各年次に基づき、学年や科等で、目標を明確にして、目標を達成する。
授業構想力	○授業の構造や実践力を身につけている。	○授業の構造や実践力を身につけている。	○生徒の実態に応じ、教科・科目等の指導技術を身につけている。	○生徒の実態に応じ、教科・科目等の指導技術を身につけている。	○生徒の実態に応じ、教科・科目等の指導技術を身につけている。	○最新の知見に基づいた指導技術や指導方法を活用して、授業を展開するなども、若干教員に助言をしている。	○教科の実態に応じ、教科・科目等の指導技術を身につけている。	○最新の知見に基づいた指導技術や指導方法を活用して、授業を展開するなども、若干教員に助言をしている。	○最新の知見に基づいた指導技術や指導方法を活用して、授業を展開するなども、若干教員に助言をしている。	○最新の知見に基づいた指導技術や指導方法を活用して、授業を展開するなども、若干教員に助言をしている。
授業実践力	○授業を分析して改善しようとしている。	○授業を分析して改善しようとしている。	○自分の授業を振り返り改善する立派な教員が身に付いている。	○自分の授業を振り返り改善する立派な教員が身に付いている。	○自分の授業を振り返り改善する立派な教員が身に付いている。	○自己評価や反省を客観的に評価し、授業改善に着手している。	○自己評価や反省を客観的に評価し、報酬を求めており、若干教員に助言をしている。	○自己評価や反省を客観的に評価し、報酬を求めており、若干教員に助言をしている。	○自己評価や反省を客観的に評価し、報酬を求めており、若干教員に助言をしている。	○自己評価や反省を客観的に評価し、報酬を求めており、若干教員に助言をしている。
授業反省力	○安全教育・防災教育をはじめとする知識を身に付けて、生徒の教育活動に協働して実践している。	○安全教育・防災教育をはじめとする知識を身に付けて、生徒の教育活動に協働して実践している。	○安全教育・防災教育をはじめとする知識を身に付けて、生徒の教育活動に協働して実践している。	○安全教育・防災教育をはじめとする知識を身に付けて、生徒の教育活動に協働して実践している。	○安全教育・防災教育をはじめとする知識を身に付けて、生徒の教育活動に協働して実践している。	○グループリーダーとして、創意工夫や企画力を發揮し、他のグループとも連携をしながら、組織を活性化させていく。	○緊急時時のミニレーンによる対応を考へ、グループの中心となるよう努力している。	○校内研修を実施するなどして、若干教員に助言をしている。	○人材育成の重要性を踏まえ、若干教員に助言をしている。	○これまでの経験を生かし、地域に貢献するため、助言・指導を行っている。
組織マネジメント力	○家庭や地域との連携・協働の意欲を身に付けて、長況に応じて活動をしている。	○家庭や地域との連携・協働の意欲を身に付けて、長況に応じて活動をしている。	○安全教育・防災教育をはじめとする知識を身に付けて、生徒の教育活動に協働して実践している。	○安全教育・防災教育をはじめとする知識を身に付けて、生徒の教育活動に協働して実践している。	○安全教育・防災教育をはじめとする知識を身に付けて、生徒の教育活動に協働して実践している。	○互いの課題や悩みを解決するため、若干教員に助言をしている。	○危機管理に対する意識を高め、危険を身に付けて行動するため、若干教員に助言をしている。	○校内研修を実施するなどして、若干教員に助言をしている。	○人材育成の重要性を踏まえ、若干教員に助言をしている。	○これまでの経験を生かし、地域に貢献するため、助言・指導を行っている。
○J-Tech推進・危機管理力	○家庭や地域との連携・協働の意欲を身に付けて、長況に応じて活動をしている。	○家庭や地域との連携・協働の意欲を身に付けて、長況に応じて活動をしている。	○安全教育・防災教育をはじめとする知識を身に付けて、生徒の教育活動に協働して実践している。	○安全教育・防災教育をはじめとする知識を身に付けて、生徒の教育活動に協働して実践している。	○安全教育・防災教育をはじめとする知識を身に付けて、生徒の教育活動に協働して実践している。	○早期見出しや想定外の事態への対応に努め、緊急時時のミニレーンの運営を調整しながら、組織を活性化させていく。	○緊急時時のミニレーンによる対応を考へ、グループの中心となるよう努力している。	○校務分掌等の業務を周囲の教職員と調整しながら運営している。	○組織全体を俯瞰し、業務の効率化を推進している。	○これまでの経験を生かし、地域に貢献するため、助言・指導を行っている。
家庭教育ネットワーク構築力	○家庭や地域との連携・協働の意欲を身に付けて、長況に応じて活動をしている。	○家庭や地域との連携・協働の意欲を身に付けて、長況に応じて活動をしている。	○家庭や地域との連携・協働の意欲を身に付けて、長況に応じて活動をしている。	○家庭や地域との連携・協働の意欲を身に付けて、長況に応じて活動をしている。	○家庭や地域との連携・協働の意欲を身に付けて、長況に応じて活動をしている。	○互いの課題や悩みを解決するため、若干教員に助言をしている。	○危機管理に対する意識を高め、危険を身に付けて行動するため、若干教員に助言をしている。	○教育活動を充実させるため、家庭や地域との連携を図っている。	○家庭や地域との連携を図っている。	○これまでの経験を生かし、地域に貢献するため、助言・指導を行っている。

担任力………生徒一人ひとりを大切にし、個性や可能性を伸長・発揮させるために、ホームルームの経営はおとより、学年、委員会活動、部活動等、生徒が活動する集団の担任として、全ての教員に求められる資質・能力。

未来ビジョン育成力………学ぶこと働くこと社会ににおける自分の役割を理解し、将来を描き問題解決に向け、主体的に行動する力を生徒に育成するため、キャラクタ教育の視点に立ち、教育活動を展開するため、キャラクタ教育の視点に立てる。

とくしま教育成指標

特別支援学校教諭用

キヤリアステージ		〈第1ステージ〉 基盤形成期	採用時に本県が求める姿 基盤期	〈第2ステージ〉 伸長・充実期	〈第3ステージ〉 深化・発展期	〈第3ステージ〉 熟達期
資質・能力	キヤリアステージ					
使命感・情熱・しさ	倫理観	○教育的愛情と熱意をもつて教員活動に臨む。○社会人としての自覚をもち、道徳精神に基づいた行動をしている。	○「とくしまを愛し、徳島教育大綱に示されている「人財の育成を目標とする」という精神力と柔軟性をもって、自分に取り組んでいる。	○使命感と教職への誇り、たましい感覚をもつて、たましく、粘り強く教育活動に取り組んでいる。	○使命感と教職への誇り、たましい感覚をもつて、たましく、粘り強く教育活動に推進している。	
人権尊重の精神	知識・学び続ける力	○自身に付けて、人権感覚を大切にし、人権意識を身に付けている。○学び続ける意欲をもち、他者に対する意見を講論に開かれて、物事を的確に判断することもできる。	○教育公務員としての自覚をもち、法令等を遵守し、家庭や地域の信頼を得ている。	○幼児児童生徒一人ひとりの抱えている悩みや願いを把握し、差別やいじめを踏まえて、教育的愛情をもち、人権を尊重し、行動している。	○家庭や地域の人権に関する課題に応え、法令等の遵守を図る。○学校や地域の信頼を高めるよう家庭や地域に広めている。	○家庭や地域の信頼を守るために取り組み、人権尊重の精神が高まっている。
社会性・コミュニケーション力	児童生徒導力	○コミュニケーションスキルを身に付けて、世話を積極的に開け合っている。	○コミュニケーションスキルを身に付けて、世話を積極的に開け合っている。	○教職員、家庭や地域と幅広く関わり、自分の考えを適切に伝えながら、助け合っている。	○組織のコミュニケーションを活性化するとともに、管理職や学年担当者等との連携により組織を支え合う環境づくりをしていている。	
目標の明確化・実現力	目標達成力	○幼児児童生徒に向き合い、一人ひとりの特性をより多く理解して、個別の目標を設定する。○児童生徒を尊重し、共感的理解に努めることで、社会的情報等の基本的な方法を身に付けている。	○個々に応じたアセスメントにより、幼児児童生徒一人ひとりの特性をより多く理解して、個別の目標を設定する。○児童生徒一人ひとりに合わせて、集団づくりの対応した顧客を踏まえ、児童生徒一人ひとりの特性を踏まえ、児童生徒一人ひとりに合わせて、集団づくりの工夫を行っている。	○各種発達心理検査、一般職業適性検査結果の活用や、取り組み、指導目標を明確にしている。	○幼稚園児生徒の発達や個々の育成目標をより多面的に理解して、長期的に指導評議会等による指導や支援を行うとともに、若手教員に助言をしている。	○幼稚園児生徒を深く理解し、自己研鑽によって試験に合格するところとともに、範を示している。
課題解決力	問題解決力	○担任の職務内容や集団づくりの意義を理解し、担任目標を明確にしようと努力している。	○担任の職務内容や集団づくりの基本的な方法を身に付けている。	○児童生徒の特徴が特徴や指導方針に基づいて、個別の指導方針等による問題解決に取り組んでいる。	○児童生徒の特徴が特徴や指導方針に基づいて、個別の指導方針等による問題解決に取り組んでいる。	○学校全体の集団づくりの取組を把握し、相談室を設けるなどして児童生徒の問題を理解して、具体的な方策を提案している。
授業実践力	カリキュラム力	○学校生活の中で生じる様々な課題について理解し、標準的な方法で身に付ける。	○学校生活の中で生じる様々な課題について理解し、標準的な方法で身に付ける。	○他の教職員や専門家のアドバイスを受けながら、特別支援教育の実施にあたっては、児童生徒一人ひとりの特性を踏まえ、児童生徒一人ひとりに合わせて、集団づくりの対応した顧客を踏まえ、児童生徒一人ひとりに合わせて、集団づくりの工夫を行っている。	○幼稚園児生徒の特徴が特徴や指導方針に基づいて、個別の指導方針等による問題解決に取り組んでいる。	○学校が画面す 다양한課題を把握し、組織的に改善を図りながら、具体的な方策を提案している。
授業構想力	未来ビジョン育成力	○カリキュラム力によると、授業を身に付けている。	○カリキュラム力によると、授業を身に付けている。	○幼稚園児生徒の実態や、作成の意図を踏まえながら、学校の運営階層に亘った授業イメージを作成し、学年指導計画に沿って、日々の保育や授業を構成している。	○幼稚園児生徒一人ひとりに応じて、育成を目指す質・能に応じたカリキュラムを制定する。○児童生徒一人ひとりに応じて、各学年間の接続を考慮し、教材開発に取り組んだりしている。	○地域の実態や学校の教育活動全般を踏まえながら、カリキュラムを展開し、組織的に改善して、学校の特色を生かしながら、カリキュラムを作成している。
授業反省力	授業評議会力	○「目標」「内容」や系統等を理解している。	○「目標」「内容」や系統等を理解している。	○アセスメントや監視的な根拠に基づいた幼児児童生徒の個々の自立の姿勢や年齢指導計画に沿って、日々の保育や授業を構成している。	○幼稚園児生徒一人ひとりに応じて、育成を目指す質・能に応じたカリキュラムを制定する。○児童生徒一人ひとりに応じて、各学年間の接続を考慮し、教材開発に取り組んだりしている。	○これまでの実績や経験を基に、単元・題材等で授業構成に応じたカリキュラムを作成する。○これまでの実績や経験を基に、単元・題材等で授業構成に応じたカリキュラムを作成する。○これまでの実績や経験を基に、単元・題材等で授業構成に応じたカリキュラムを作成する。
授業力	授業実践力	○幼児児童生徒の実態に応じて、作成の意図を踏まえながら、学校の運営階層に亘った授業イメージを作成し、学年指導計画に沿って、日々の保育や授業を構成している。	○カリキュラム力によると、授業を身に付けている。	○各課題や方針を踏まえ、日々の児童生徒の個々の特徴を踏まえながら、各学年間の接続を考慮し、教材開発に取り組んだりしている。	○児童生徒一人ひとりに応じて、各学年間の接続を考慮し、教材開発に取り組んだりしている。	○児童生徒一人ひとりに応じて、各学年間の接続を考慮し、教材開発に取り組んだりしている。
授業反省力	授業評議会力	○カリキュラム力によると、授業を身に付けている。	○カリキュラム力によると、授業を身に付けている。	○各課題や方針を踏まえ、日々の児童生徒の個々の特徴を踏まえながら、各学年間の接続を考慮し、教材開発に取り組んだりしている。	○児童生徒一人ひとりに応じて、各学年間の接続を考慮し、教材開発に取り組んだりしている。	○児童生徒一人ひとりに応じて、各学年間の接続を考慮し、教材開発に取り組んだりしている。
授業力	授業実践力	○組織の一員として、目標と自分が達成する手立てを理解し、実現しようとしている。	○組織の一員として、目標と自分が達成する手立てを理解し、実現しようとしている。	○学校の経営方針を理解し、報酬や賞罰を適切に行ない、授業改善を行っている。	○グループの強みと弱みを分析したりPDSAサイクルを活用しながら、組織の範囲となるよう努めている。	○児童生徒一人ひとりに応じて、各学年間の接続を考慮し、教材開発に取り組んだりしている。
組織マネジメント力	組織マネジメント力	○安全教育や防災教育をはじめとした各種技術を身に付けて理解し、協働して自分の役割を果たそうとしている。	○組織の一員として、目標と自分が達成する手立てを理解し、実現しようとしている。	○校務分掌等の業務を理解して、校務分掌等の業務を間違え行なっている。	○互いの課題や半ばの共有を図るために、責任を負うところだけが、苦手教員が調整しながら、組織の範囲となるよう努めている。	○児童生徒一人ひとりに応じて、各学年間の接続を考慮し、教材開発に取り組んだりしている。
危機管理力	危機管理力	○安全教育・防災教育をはじめとした各種技術を身に付けて理解し、ボランティア活動や地域の行事等に心じた行動をしている。	○組織の一員として、目標と自分が達成する手立てを理解し、実現しようとしている。	○安全教育を理解し、報酬や賞罰を適切に行ない、危機管理交換を積極的に行なっており、責任を果たすところだけが、苦手教員が調整しながら、組織の範囲となるよう努めている。	○互いの課題や半ばの共有を図るために、責任を負うところだけが、苦手教員が調整しながら、組織の範囲となるよう努めている。	○児童生徒一人ひとりに応じて、各学年間の接続を考慮し、教材開発に取り組んだりしている。
協働力	家庭・地域・ネットワーク構築力	○家庭や地域に連携する重要な性や可塑性を伸長させさせるために、全ての教員に求められる資質である。○家庭や地域の責任として、教育活動を身に付けている。	○家庭や地域に連携する重要な性や可塑性を伸長させさせるために、全ての教員に求められる資質である。○家庭や地域の責任として、教育活動を身に付けている。	○家庭や地域の信頼、協働の意義を理解し、状況に応じた行動をしている。	○家庭や地域の信頼、協働の意義を理解し、状況に応じた行動をしている。	○家庭や地域の信頼、協働の意義を理解し、状況に応じた行動をしている。

担任力……………

未 来 ビ ジ ョ ン 育 成 力 ………………

幼児児童生徒一人ひとりを大切にし、個性や可塑性を伸長させさせるために、学校(ホームルーム)の経営はもとより、学年、委員会活動、部活動等、幼児児童生徒が活動する集団の責任として、全ての教員に求められる資質である。

未 来 ビ ジ ョ ン 育 成 力 ………………

学ぶこと働くことの意義や地域社会における自分の役割を理解し、将来を描く視野解決に向けた主体的に行動する力を幼児児童生徒に育成するためには、キャリア教育の視点立ち、教育活動を通じて資源を活用する資質・能力。施設教育大綱に示されている本末を抑揚の力の育成と大きく関わる。

標指成育員教ましくし

用諭教養

標指成育員教ましくと

とくしま教員育成指標

管理職用

職位	教頭	副校長	校長
素養	使命感・責任感	○校長を補佐する自覚をもち、校務全般を把握するなどとともに、それらが円滑に機能するよう、責任感をもって自分の役割を果たしている。	○学校の最高責任者としての覚悟をもち、法令等に基づいて適正な学校経営を行い、よりよい児童生徒の育成に使命感をもって取り組んでいる。
	倫理観	○法令を遵守し、鋭い人権感覚のもと、誠実かつ公正に職務を遂行するとともに、教職員に対してもコンプライアンスに留意するなどして指導をしている。	○鋭い人権感覚と規範意識に基づき、職務を遂行するどもに、教育公務員としての職責や義務を教職員に示している。
	リーダーシップ・決断力	○組織のリーダーとしての自覚をもち、的確で迅速な判断と指示を行い、校務を遂行している。	○豊かな人間性と経験に裏打ちされた高い識見に基づき、冷静に状況を見極めて最終決断をしている。
	先見性・識見	○最新の情報を収集し、学校に対する社会の要請を自覚し、情報に基づく状況を把握し、時代を見通した学校経営ビジョンの形成に生かしている。	○学校を取り巻く状況を見極めて最終決断をしている。
	社会性・人間関係構築力	○家庭、地域、学校関係者や関係機関等との関係性を高め、協働的な関係を築いている。	○家庭、地域、学校関係者や関係機関等と広く関わり、信頼関係を築いている。
	企画経営力	○「徳島教育大綱」や「教育振興計画」の理念を理解し、校長の指導のもと、具体目標の立案やその実現に向けた方策を提案している。 ○常に新しいものを創り出すチャレンジ精神をもち、教育を取り巻く社会の変化に対応した企画力を備えている。 ○学校経営方針に基づき、学校や地域の実態を踏まえたカリキュラムマネジメントを推進するため組織員に指導・助言し、学校全体で取り組む体制づくりをしている。 ○学校評価等の結果を分析し、PDCAサイクルに基づいて教育活動の改善を提案・実践している。	○「徳島教育大綱」や「教育振興計画」の趣旨を生かした中長期的な経営ビジョンを明確にし、学校経営方針を策定している。 ○国の動向や県の教育施策を熟知し、新たな教育環境を生み出す企画経営力を備えている。
	組織づくり力	○組織の全体像を把握するとともに、学校教育目標に沿った体制整備をしている。 ○組織運営上必要な外部、内部環境を把握し、学校の強みを発揮し、学校の強みを生かした組織づくりを行っている。 ○教員評価を実施し、その結果を基に一人ひとりのもつ能力を積極的に引き出すとともに、教職員の有用感を高め、「チーム学校」を活性化している。	○学校の教育活動や学校経営の課題を的確に把握するための計画的な評価改善に努め、新たな企画に生かしている。 ○組織全体を俯瞰し、学校の強みを生かした組織づくりを行っている。 ○学校の教育活動が効率よく最大の効果があげられるように、教員評価の結果を生かし、「チーム学校」を牽引している。
	危機管理力	○災害や想定外の事態の発生に備え、訓練を工夫し、実践するどもに、危機管理マニュアルを絶えず見直し、発生時には迅速に対応している。 ○学生運営上必要な校内人事・施設・事務（財務・文書等）を管理している。 ○学校環境の安全を絶えず点検し、課題について適切に対応している。	○災害や想定外の事態の発生に備え、危機管理体制を確立し、発生時には状況を見通し、的確な指示を出している。 ○学校経営上必要な所属職員の管理・監督を行い、施設・事務（財務・文書等）の管理状況を掌握している。
	学校資源活用・整備力	○教育予算を把握し、施設の適切な管理や予算運用ををしている。 ○外との様々な調整の実務担当者として、地域の実績を把握し、実情に応じて学校資源を整備・活用している。	○学校資源を把握し、教育予算等を有効活用する中で、組織の持続・成長の方策を打ち出している。 ○学校の人的・物的資源を正確に把握し、地域の状況に応じて、学校資源活用の方針を策定している。
	人材育成力	○経験を生かし、キャリアステージに応じた教職員の育成のために、的確に指導・助言している。 ○人材発掘に努め、常に意図的・計画的に中核教員を育成している。 ○校長の指示のもと、教職員の資質・能力向上のための体制づくりに積極的に関わっている。	○教職員一人ひとりの資質・能力や実績を適切に把握し、人材活用に生かすとともに、それぞれの職務の立場からキャリアステージに応じた育成指導を行うよう指示している。 ○意図的・計画的な人材育成に努め、マネジメント能力に長けた学校リーダーを育成している。
	連携・交渉力	○家庭、地域や関係機関等と連携し、情報を共有しながら、協働活動に取り組んでいる。 ○家庭や地域との連携において、教職員を支援している。	○家庭、地域や関係機関等との協働活動を積極的に推進し、地域に根ざした学校づくりを行っている。 ○教育委員会や関係機関等と適切に連携し、調整・折衝を行なながら学校の課題解決につなげている。
	職場環境づくり力	○教職員の長時間労働解消やメンタルヘルスの保持増進に率先して取り組んでいる。 ○教職員間のコミュニケーションを活性化し、相互理解を促進するとともに、課題の解決や合意形成が協働的に行われるようになっている。	○ワーク・ライフ・バランスを推進し、職場環境における課題の解決を図り、効率がよく働きやすい職場づくりをしている。 ○教職員間の関係性に配慮し、互いに信頼し、認め合う風通しのよい職場づくりを行っている。